

成幸利根株式会社『ロストル_S工法』を開発

成幸利根株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 太田満）は、SMW連続壁施工時における想定外の地中障害物を、SMW機で撤去することができる「ロストル_S工法」を開発致しました。

1. 開発経緯

従来、地中連続壁施工時に発生した障害物は、ロックオーガー工法により破砕する方法が主流でしたが、昨今では全周回転式オールケーシング工法やBG工法で、撤去する方法が主流となっています。

今回開発した「ロストル_S工法」は、SMW機のリーダを倒すことなくフロントアタッチメントを組み替えることで、BG工法と同様に障害物の完全撤去を実現しました。

BG工法を採用した場合と比べて、搬入組立作業が不要であり、狭隘現場における入替作業も不要であるため工期短縮と工費削減につながる環境にもやさしい工法です。

2. スペック

- ◇ 最大トルク 25t・m
- ◇ 掘削径 φ1,000mm から φ1,500mm
- ◇ 最大削孔深度 24m



▲撤去中



▲作業後



▲全体写真

3. お問い合わせ

成幸利根株式会社 西日本支店	榎本 二郎	TEL06-6233-5300
成幸利根株式会社 東京支店工事部	平泉 辰哉	TEL03-5645-3236
ヒロセホールディングス株式会社 経営企画部	水谷真由美	TEL03-5634-4505